

GPI にプリセット呼出スイッチ、GPO にタリーLED を設定する方法

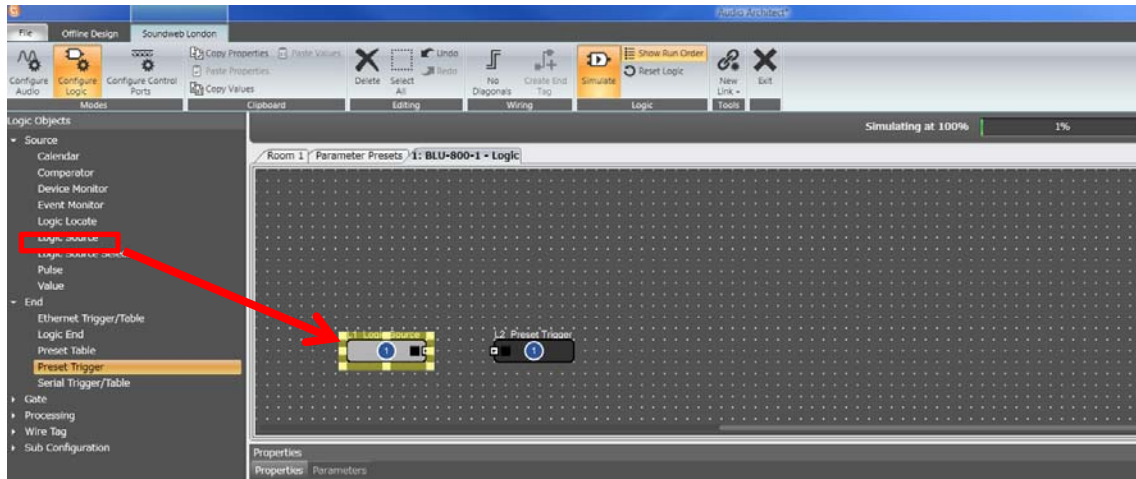
GPO にプリセット ON タリーを直接ドラック & ドロップ設定することができないので、別途ロジックを組む必要があります。

1. GPI の「Logic Source」にプリセットを設定
2. GPO に「Logic Source」をアサイン

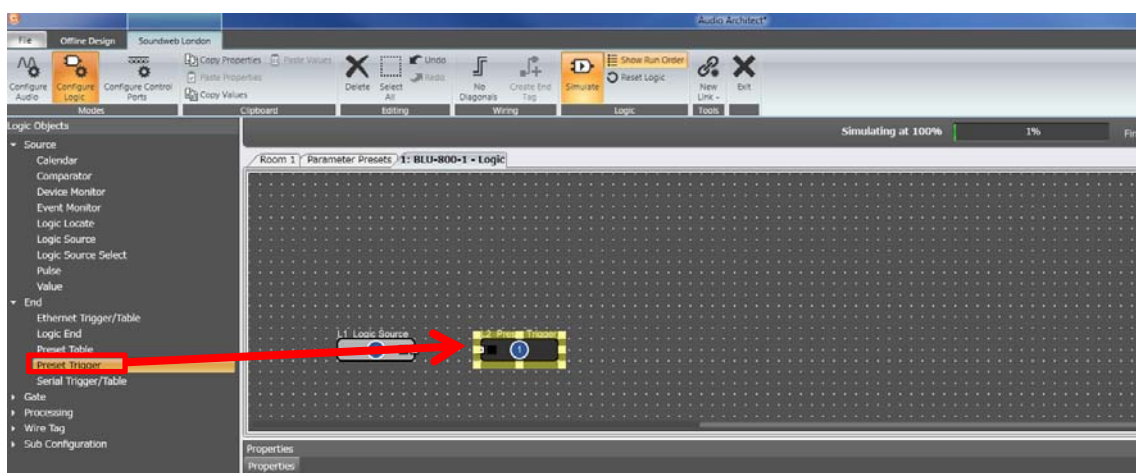
することで、プリセットをカスタムパネル、GPI でリコールできるようになり、また選択したプリセットを GPO で LED を点灯させることができます。

以下その設定方法となります。

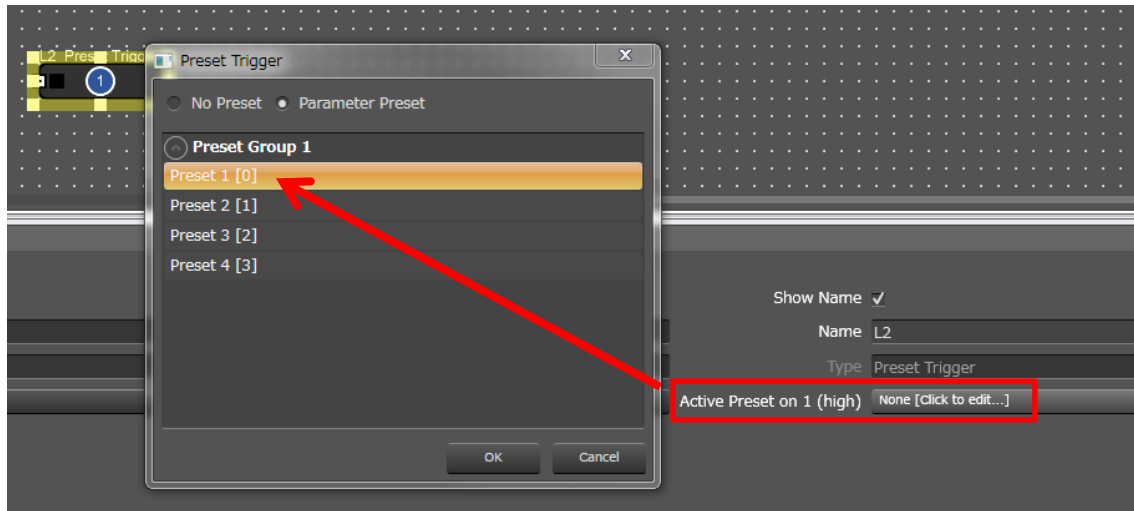
ロジックソースに「Logic Source」



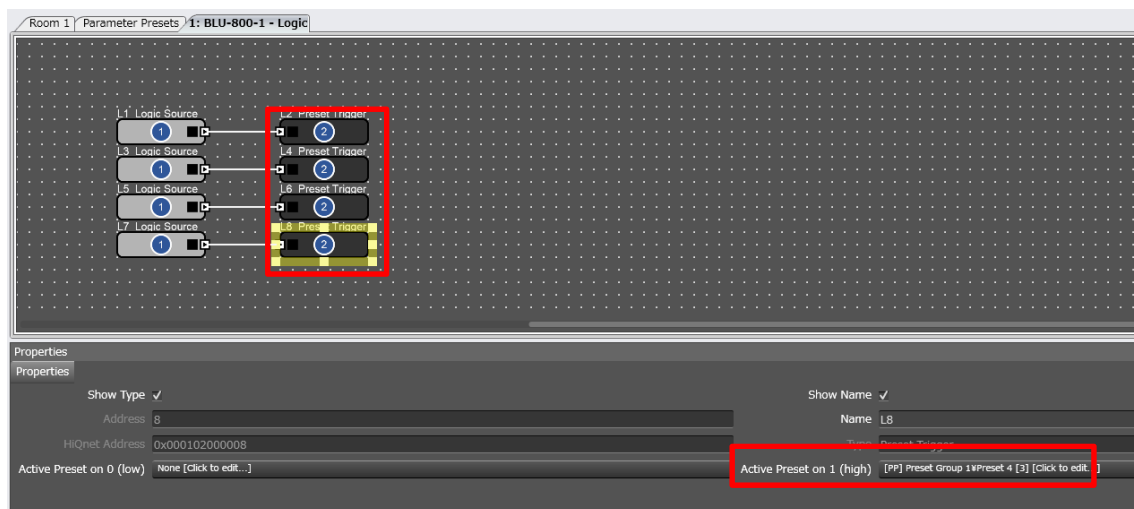
ロジックエンドに「Preset Trigger」を利用します。



「Preset Trigger」に ON (High) が来た時に、
「Preset1」が呼び出されるように設定します。

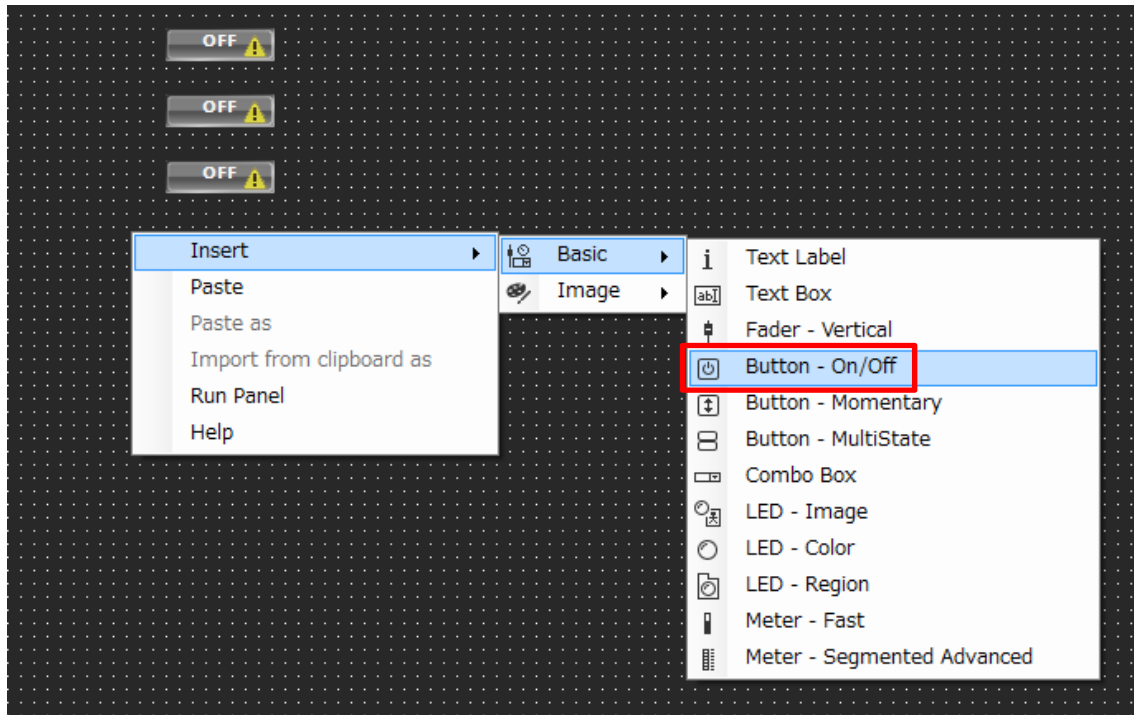


プリセット分作成します。(例では4つ)

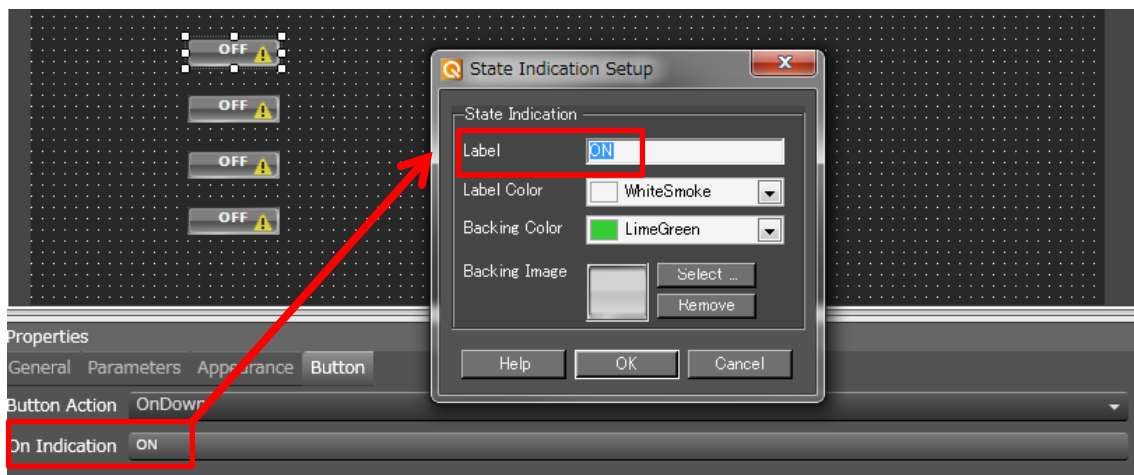


カスタムパネルを選択します。

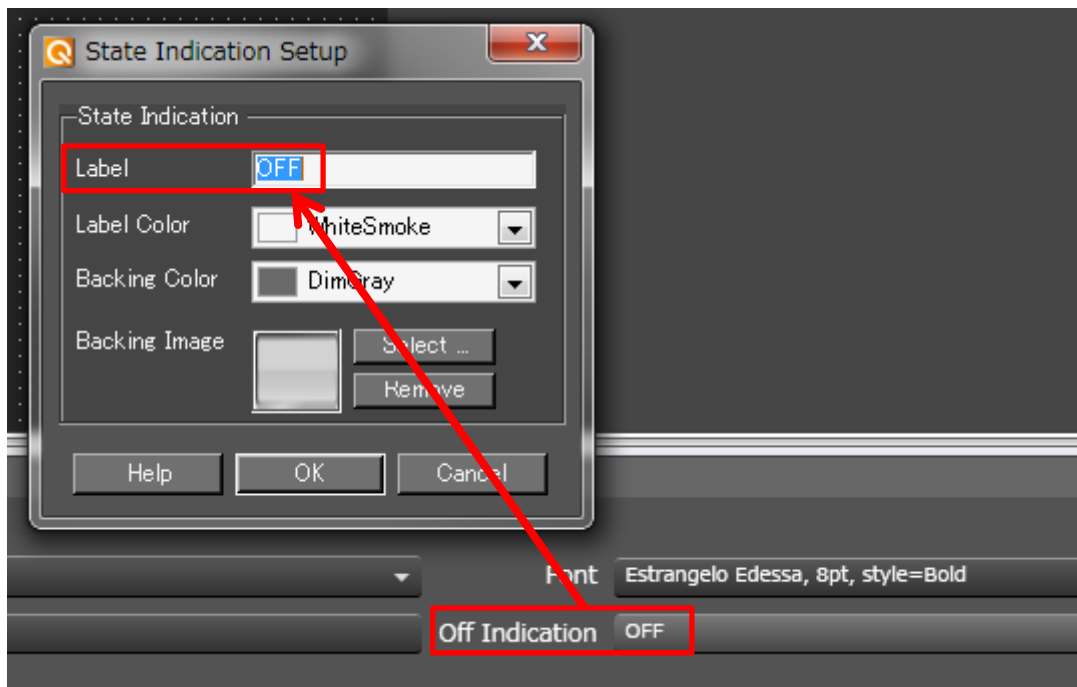
プリセット用に「Button -On/Off」を4つ作成します。



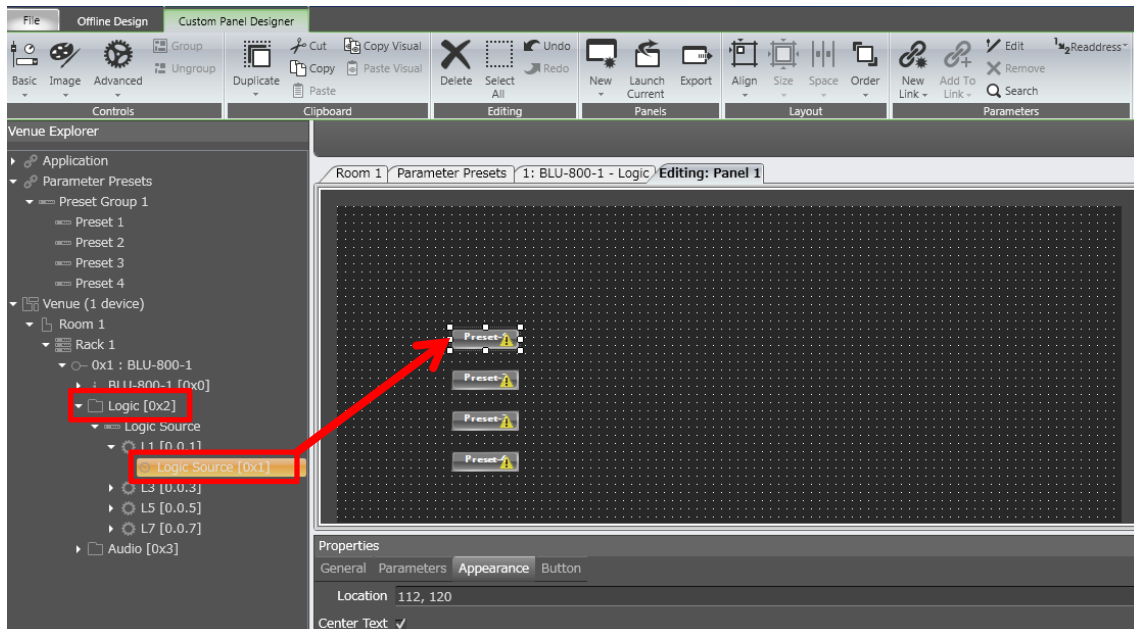
「On Indication」のラベルを変更します。



同じく「Off Indication」のラベルも変更します。

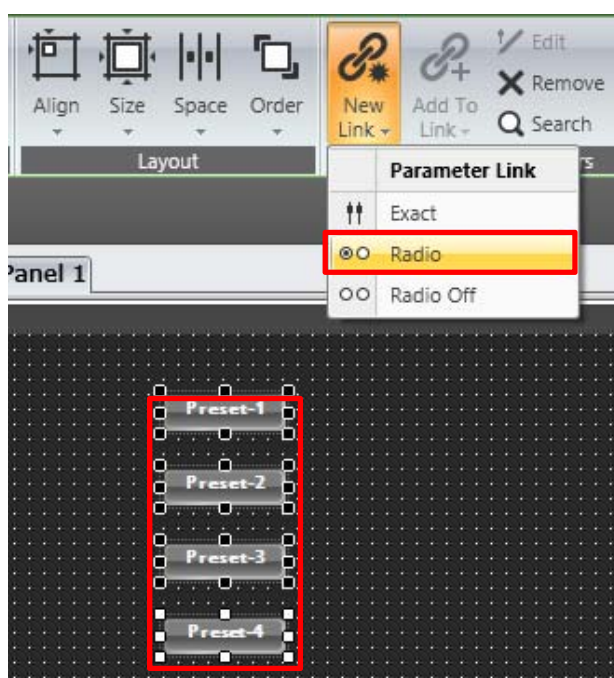
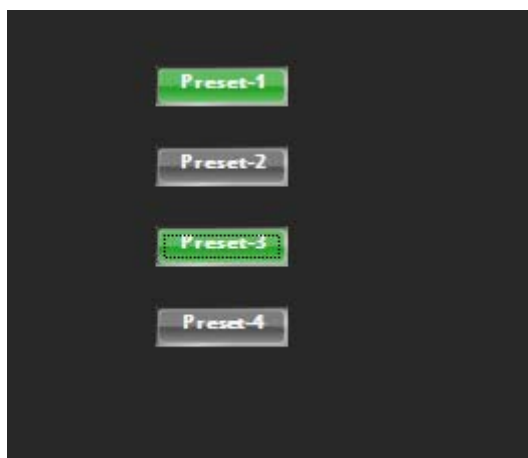


ボタンにプリセットを割り当てます。

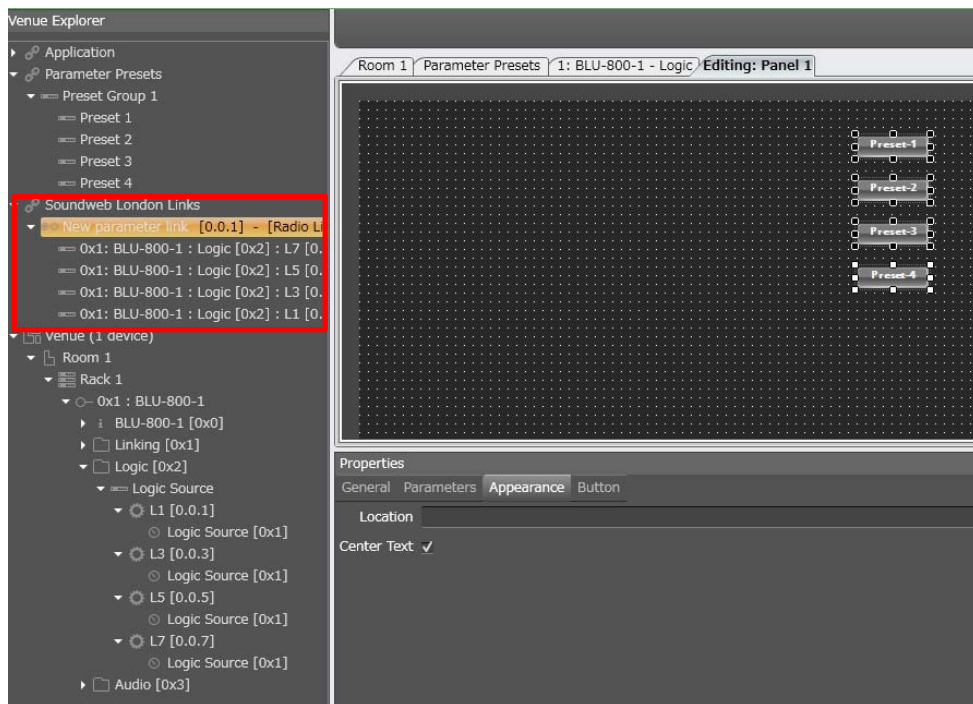


ドラッグ&ドロップします。

このままだと、同時に複数のプリセットボタンが選択されてしまうため「Radio」動作（択一動作）するグループを設定します。

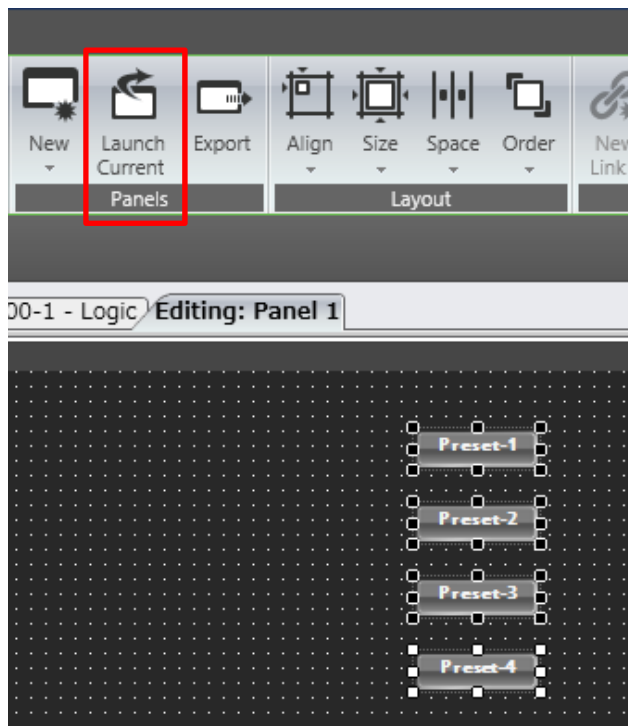


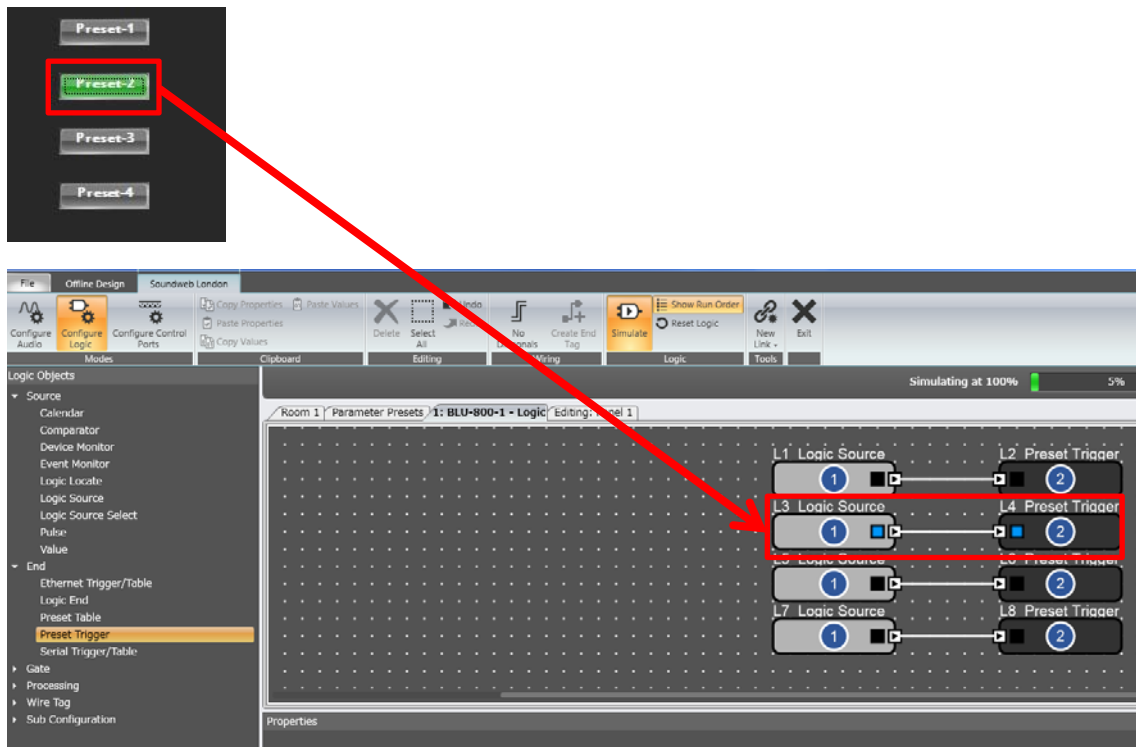
「Radio」動作させたいすべてのボタンを選択し、「New Link」より「Radio」を選択します。「Radio Off」を選択すると、択一で選んだボタンも、もう一度押下するとすべて Off になってしまいます。



上記、左側 Venue Explorer 上にリンクが作成されます。

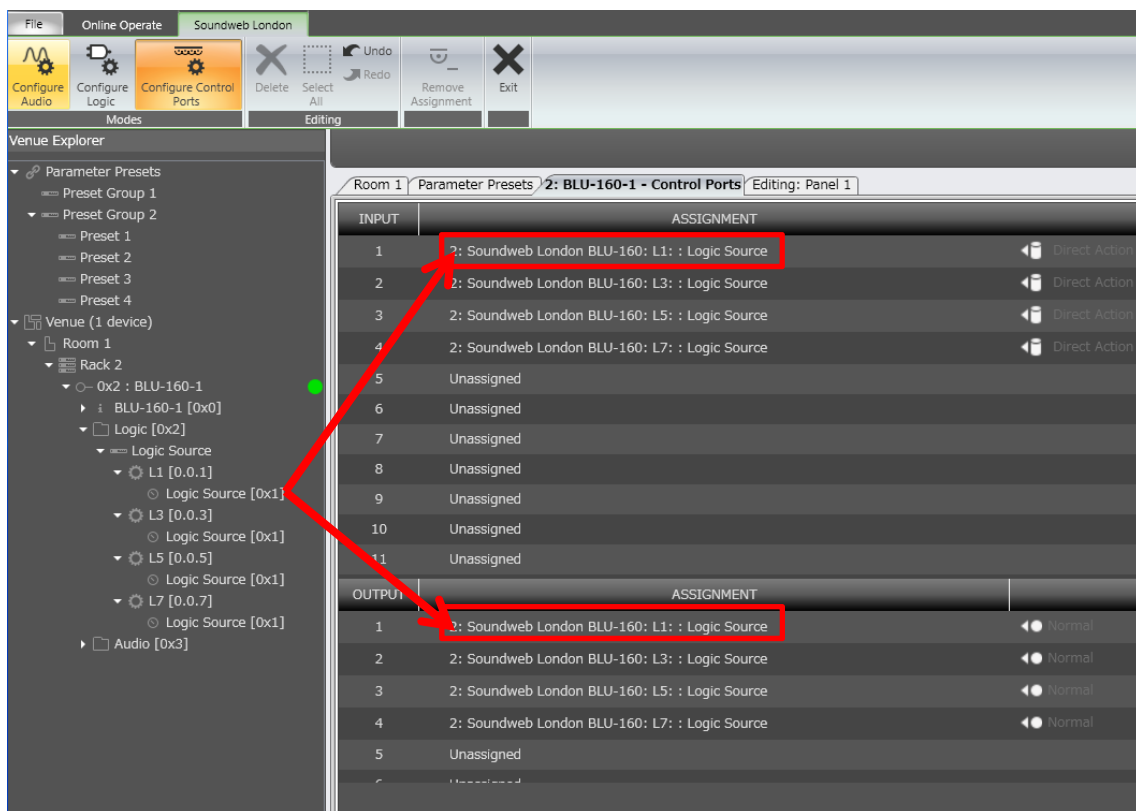
上方にある「Launch Current」アイコンを押下し動作を確認します。





プリセットが切り替わることを確認します。

GPIO に同じ「Logic Source」をアサインします。



- ・ GPI から、プリセットをリコールできること
- ・ カスタムパネル (Lunch Current) からプリセットをリコールできること
- ・ 各プリセットをリコールした時に GPO から 5v 出ていることを確認します。